

甲府市 農業委員会だより

発行 甲府市農業委員会
 住所 〒400-8585
 山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
 電話 055-237-1161(内線7344)
 055-237-5892(直通)
 編集 甲府市農業委員会だより
 編集委員会



風土記の丘農産物直売所新装オープン



— おもな内容 —

ページ

- 第12期農地銀行推進員新体制 2
- 農業委員会活動報告他..... 3
- 農政情報コーナー(中北地域普及センター)..... 4
- 農感記第31集 5
- 甲府市賃借料情報他..... 6



農地銀行推進員 新体制について

第12期農地銀行推進員

が、平成26年12月から3年間の任期で、次のとおり委嘱されました。

各地区の農地銀行推進員には、農地の結び付き活動にご尽力を頂いています。

第12期農地銀行推進員

敬称略(町名等)

★里垣地区

- ・前島育男(東光寺)
- ・矢崎正勝(善光寺)
- ・貴家栄一(酒折)

★甲運地区

- ・加賀美一吉(横根)
- ・田野口 勲(横根)
- ・市川雅文(横根)
- ・森 信二(横根)
- ・杉原正芳(桜井)
- ・福島 衛(桜井)
- ・堀井公雄(川田)
- ・望月典雄(川田)
- ・窪田 勝(和戸)
- ・落合正友(和戸)

★相川地区

- ・保坂幸延(上積翠寺)
- ・中澤好吉(下積翠寺)
- ・渡辺幸正(古府中)
- ・中澤千尋(塚原)

★千代田地区

- ・飯沼 博(上帯那)
- ・角田源太郎(下帯那)
- ・植田 泰(平瀬)

★玉諸地区

- ・輿水昭洋(蓬沢)
- ・萩原靖彦(西高橋)
- ・鷹野達雄(七沢)
- ・鷹野勝也(上阿原)
- ・松野 久(上阿原)
- ・川隅一彦(向)
- ・大沼富士夫(国玉)
- ・柳澤 榮(国玉)
- ・小松文治(里吉)

★大鎌田地区

- ・向井公雄(宮原・堀之内)
- ・石原啓太(高室)

★二川地区

- ・伊藤 基(西下条)
- ・芹澤 章(大津)

★山城地区

- ・内藤邦雄(下小河原)
- ・關野 登(上)
- ・倉金幸広(上)
- ・萩原 斉(増坪)
- ・内藤幸彦(増坪)
- ・古泉信義(小瀬)
- ・越石和昭(上今井)
- ・内藤和泉(上今井)
- ・市村秀俊(下鍛冶屋)
- ・小林和教(落合)
- ・酒井正秀(落合)
- ・西名武洋(西油川)
- ・佐野安男(下今井)
- ・向山章夫(小曲)
- ・齊藤忠男(中)
- ・久保島 平(東下条)

★中道地区

- ・土屋三千雄(白井)
- ・土屋正人(上曾根・文珠)
- ・楠間曉男(上曾根・中村)
- ・志村静男(上曾根・下区)
- ・田中寿雄(下曾根・中)
- ・深田喜徳(下曾根・北)
- ・宮沢幸洋(下曾根・西)
- ・米山幸衛(右左口・上宿)
- ・長塚吉夫(右左口・中宿)
- ・米永健治(右左口・下宿)
- ・柿嶋 敦(右左口・七覚)
- ・林部保一(心経寺)

★桑本袈裟康(中畑)

- ・飯寄征男(上向山)
- ・長田孝夫(下向山・金沢)
- ・井田慶喜(下向山・松本)

★上九一色地区

- ・橘田 勇(古関)

★甲府市農業協同組合

- ・米倉利次(玉諸支店)
- ・市村竜太郎(東地区経済センター)
- ・篠原 透(アルプス通り支店)
- ・佐藤久延(千塚支店)
- ・金丸 修(大鎌田支店)
- ・望月 潤(南地区経済センター)
- ・浅川 勇(山城支店)

★笛吹農業協同組合

- ・田中哲也(中道北支所)
- ・山下登志夫(中道南支所)



推進員委嘱状交付式の様子

特徴

農地銀行の農地貸借は、期限が来れば耕作権が発生することなく、農地は貸し手に返ってきます。農業経営基盤強化促進法に基く、正式な貸借なので安心です。

奨励金

耕作地50a以上になる認定農業者が借りる場合、借り手に奨励金が出ます。

【10a当たりの奨励金額】

- 期間3年以上6年未満
青地農地15,000円
白地農地10,000円
- 期間6年以上
青地農地30,000円
白地農地20,000円

要件

農地銀行で農地を借りる場合の要件

- ・農業振興地域内の農地
- ・借り手の農業従事日数が年間150日以上
- ・借り手は借りる農地を含めて20a以上(宮本・能泉・上九地区は10a以上)耕作している

農業委員会活動報告

先進地視察研修

長野県伊那市農業委員会

平成26年11月21日(金)に伊那市農業委員会への視察研修を実施いたしました。

伊那市は昨年5月に農林水産大臣表彰を受賞しており、その活動が評価された「地域一体となった遊休農地の大規模再生」及び「人・農地プラン」での農地集積、有効活用、担い手の育成などの各事例について研修をしてまいりました。



長野県伊那市視察

さらに伊那市に開園している農業公園施設「みはらしファーム」は農業の生産普及・展示体験・レジャーレクリエーション機能を有し、農業への理解の増進や人材の確保育成を図り、地域農業の振興と次世代の担い手を育成する農業拠点施設として運営されており、この取り組みについても研修いたしました。

農業委員の研修等

毎月の定例総会・農地調査・運営委員会・各地域ブロック会議・編集委員会などの各会議、農地利用状況調査・農地利用集積業務・農地基本台帳補筆修正業務互助会総会、各地域においての農業に対する相談・手続業務、更には研修や行事が実施されました。

○8月20日(水)

甲府市南公民館
第22期甲府市農業委員業務研修会

○9月17日(水)

甲府市役所会議室

群馬県渋川市農業委員会
視察研修対応

○10月2日(木) 3日(金)

笛吹市石和町

山梨県市町村農業委員会
会長会議

○10月15日(水)

甲府市役所市長室

平成27年度甲府市への建議書提出

○11月4日(火)

山梨県地場産業センター
地区別農業委員等研修会

○11月5日(水)

甲府市役所会議室
鹿兒島市農業委員会
視察研修対応

○11月20日(木)

山梨県地場産業センター

県農政推進農業委員大会

○1月22日(木)

ブロック別現地研修会
中・南ブロック

農業委員さんが 代わりました

笛吹川沿岸土地改良区組合の理事改選に伴い、田中良彦委員から米永健治委員に9月18日付けで交代いたしました。
田中良彦様には長い間ご活躍いただきありがとうございました。



- ・ 米永 健治 委員
- ・ 南ブロック
- ・ 甲府市右左口町

祝・甲府市農業賞 おめでとございます

平成26年度の甲府市農業賞は右左口町の五味善三様が表彰されました。
五味さんにおかれましては花苗の市場出荷、野菜苗においては「炭素循環型農法」による栽培方法で安心安全な美味しい作物づくりに取り組み、販路拡大に取り組みしております。



第41回甲府市農林業まつりで表彰

更に地域貢献として花卉・野菜の作物指導を行うなど就農を目指す研修生の育成にも尽力しております、これからも地域農業の振興の発展を期待いたします。

普及センターコーナー

中北地域普及センター
(中北農務事務所 農業農村支援課)
TEL 0551-23-3291

GAP (ギャップ) に 取り組んでみませんか

GAP (農業生産工程管理) についてご紹介します。GAP (ギャップ) とは「Good (良い) Agricultural (農業) Practice (やり方) の略語で、「良い農業のやり方」と訳せます。少し難しく思うかもしれませんが、つまりGAPとは農家のみなさんが「良い農業」を実現するための道具(手法)として活用するものです。

農産物を栽培し、収穫・出荷するまでに幾つもの作業工程があります。この作業工程の中には、様々なリスクが潜んでおり、一つ作業を間違えると農業経営に影響を与える問題が発生することがあります。例えば、農薬の間違った使用による残留農薬の基準違反、農作業中の機械事故、農薬や肥料の河川流出に

よる地下水の汚染など様々な問題の発生が考えられます。

GAPはこのような問題の発生を未然に防止し、「儲かる農業」「持続可能な農業」「楽しい農業」等々を実現するための道具となります。

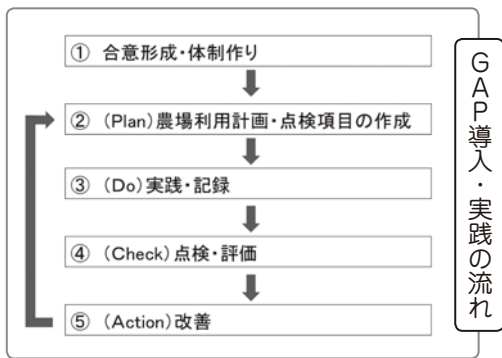
次にGAPの具体的な方法を紹介します。まず、農作業毎に、どのような問題の発生が考えられるか書き出します。次にその問題が発生する要因は何か、発生させないためには何が必要かを整理します。これら点検項目をまとめたチェックシートを作成し、このチェックシートを活用しながら、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価、改善を繰り返しながら、よりよい農業に近づけていくことです。現在、甲府市内においても、JA甲府市果実部などう部会及び蔬菜部なす部会において部会員によるGAPの取り組みが行われています。

ます。

近年、食品への農薬混入事案、加工品への異物混入など食品の安全・安心を揺るがす事件が相次いで発生していることはご存じのとおりです。

いつこのような問題が農産物の生産段階において発生するか分かりません。そして一度発生すると、農家自身の問題に留まらず、産地全体の安心・安全を揺るがすことにもなりかねません。

是非、経営改善を図るためにもGAPに取り組んでみてください。GAPに関する相談については、中北農務事務所農業農村支援課までお願いいたします。



農業用ハウスと果樹棚の 雪害防止対策指針を 策定しました

平成26年2月の大雪は、甲府の最大積雪深が114cmに達し、多くの農業用ハウスが倒壊するなど、農業関係では過去最大級の被害となりました。

一方、今回の大雪の中でもハウスの補強や降雪時の対応により、被害を回避した施設もあることから、こうした事例を参考に技術的な対策を取りまとめた「農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針」(大雪に対する技術対策資料)を策定しましたので、今後の被害防止のための参考資料として活用していただきたいと思います。

詳細はこちらのホームページをご覧ください。
<http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/>

「大雪から農業用ハウスを守る」 の方々の対策

- 一 事前に補強対策を実施した事例
- パイプハウスの骨材の一部に48mmの太いパイ

プを使用して補強

- アーチ部分をパイプや引っ張り線などによって補強
- 直管パイプを利用した補強

こうした対策は、降雪時に応急的に実施されたものではなく、日頃から風雪害の回避のために準備されていたものであり、事前の補強対策が重要となります。

- 二 降雪時に融雪と除雪作業を徹底して実施した事例
- 雪の降り始めから、加温機を通常より高い温度で稼働させ、室温を上げることで融雪した。
- ハウス屋根、谷間の雪下ろしを雪がやむまで続けた。
- 除雪が間に合わない判断し、ピニールを思い切って破いてハウス内部に落雪させて倒壊を回避した。

早めの融雪、除雪の実施。また、大雪時にはピニールを切るなど緊急的な対応をしたハウスで倒壊を回避しており、状況に合わせて適切な対応が重要であることが、調査結果からわかりました。

農感記 第三十一集

農業後継者問題について

川田町 堀井 公雄



現在の甲運地区における
専業・兼業農家は300軒程
ありますが年々減少の一途
をたどっております。

私が本格的に農業を始め
たのは、今から35年前の32
歳の時でしたが、当時は毎
年農繁期には葡萄栽培を行
い、農閑期においてはアル
バイトをするという生活で
した。

将来の人生設計について
迷っていたその頃に、同級
生の一人がハウス栽培をや
らないか」と話を持ちかけ

てくれました。生業とする
なら専業農家の方が力も入
るし挑戦してみたいと思
い、ビニールハウスを建て
て専業農家になりました。

その後、経営拡大の為に
果樹園を借り130aの葡萄栽
培を行い、繁忙期には近所
の人手を借りながら頑張っ
てきました。現在では機械
化が進み作業効率も良く余
裕ができ、余暇を楽しむ時
間もできました。

現在の農業経営は資材・
農機具・人件費等の経費が
高騰しており、農家の売り
上げから差し引くと利益薄
が現実です。

さらに甲運地区において
は、都市開発が活発に行わ
れ住宅地や商業施設、さら
には太陽光発電設備などへ
の転用が目立っております。

これらの現実を考えると

本気で農業を引き継いで行
くことは厳しいのが現状で
あり後継者に推奨するのも
心苦しい状況です。

又、現状の農地について
も放棄地や遊休化が見受け
られ果樹園は年々減少して
おります。

以前の様に農地を借りて
でも、農業を頑張り安定し
た収入を得ることで希望が
持てれば、後継者の問題に
ついては多少改善されるの
ではないかと考えます。

農業の移り変わり

右左口町 長塚 吉夫



私が右左口町に生を受け
て63年が経ちました。幼少
期で物心がつく頃の我が家
においては、台所と寢床以
外の家の中はお蚕さんで

ビッシリでした。当時は家
族全員が父親の号令で作業
を行い、私も小さいながら
お手伝いをしました。農閑
期になると父親が甲府の中
心に連れて行ってくれ「好
きな物を食べていいぞ！」
と、それが子どもながらに
嬉しかった思い出がありま
す。

それから時が過ぎ、養蚕
業は中国からの安い生糸に
押され、国内の養蚕農家は
減少していきました。我が
家においても経営方針の転
換を迫られました。畜産
業を中心に生計を立てるこ
とで頑張りました。再び時

が経つと、世界経済がグ
ローバル化するにつれて、
諸外国から安価な畜産物が
輸入されるようになりまし
た。さらには、地域への環
境配慮等もあり畜産業から
またも方針転換せざるを得
なくなり、現在では果樹・
蔬菜を中心にして、私が農
業を引き継いで行っており
ます。

以前から農政環境への関

心はありましたが、東日本
大震災を経験して、これま
で以上に環境とエネルギー
のあり方、食の安全に対す
る感心が高まりました。地
域社会や農業を取り巻く環
境は大変厳しい状況が続い
ております。

中道地区の農地の移り変
わりに目を向けますと、下
向山町には大規模な太陽光
発電板が設置されています。
これら発電事業を一例にし
ても農業に対する影響は計
り知れないことを充分考慮
して欲しいところです。

農業が直面する気候変動
については、地球温暖化の
影響から、世界規模で甚大
な被害を及ぼす自然災害が
頻発しています。中道地区
においても異常気象の影響
で耕地や水源の確保等に深
刻なる問題が起らないこ
とを願うばかりです。

他にも農業を取り巻く移
り変わりは激しく問題も山
積していますが、これから
の世代に光りが射すことを
切に願っております。

全国農業新聞

購読のお申し込みは
農業委員会へ
平成27年4月から
購読料改定

購読料(税込)月700円
年8400円

農業者年金は、国民年金だけでは不十分な老後の生活費を農業者が年金の形で受給できるように設けられた公的年金制度です。

農業者年金へ
ご加入下さい

平成27年度農業臨時雇賃金等標準額については、4月中に甲府市農協・笛吹農協、市関係機関の窓口配布いたします。

農業臨時雇賃金等
標準額について

農業委員会からの
お知らせ

☎23715892

甲府市賃借料情報

平成25年及び26年に締結(公告)された農地賃貸借契約における賃借料の水準額等は、左記のとおりになっています。
賃貸借を行う際の参考にして下さい。

(円/10a当たり)

作物区分		甲府市平均	旧甲府市 (平坦地)	旧甲府市 (山間地)	旧中道町
水 稲	平均額	11,900	12,000	-	11,400
	最高額	20,800	20,800	-	18,900
	最低額	5,500	5,500	-	3,600
	データ数	153	127	-	27
野 菜	平均額	11,600	12,100	-	10,100
	最高額	20,800	20,800	-	20,000
	最低額	4,700	4,700	-	4,800
	データ数	167	82	-	83
果 樹	平均額	17,500	20,100	16,700	7,900
	最高額	32,300	35,600	31,100	15,600
	最低額	5,700	6,800	6,800	3,800
	データ数	170	100	55	22

- ※1 データ数は集計に用いた筆数です。
- ※2 金額は、算出結果を四捨五入して100円単位になっています。
- ※3 表中の数値は、平均額±70%を逸脱するデータは除いています。

中山間地域等直接支払い 制度が実施されています

この制度は、農業・農村が持っている水源かん養・洪水の防止・土壌の侵食や崩壊の防止機能を重視し、耕作放棄地の増加など深刻な状況にある中山間地域での農業生産の維持を図り、多面的機能を確保する観点から実施されています。

平成27年度からは、第4次対策として、法律に基づき実施する予定です。協定書提出期限は、平成27年8月31日です。
協定を希望される対象の皆さんは農政課へ、早めにご連絡ください。

平成26年度実績

協定名…平瀬町他8集落
協定参加者…143名
協定農用地…急・緩傾斜
協定面積…290374㎡
交付金額…296万6662円
農政課

TEL 298-4836

表紙写真の紹介

風土記の丘農産物直売所

平成26年11月に甲府市中道交流センター内に新装オープンしました。

- ・住所 下曾根町1070番地3
- ・電話 266-3858
- ・営業時間 午前9時～午後6時
- ・定休日 毎週火曜日

(祝日の場合は翌日)
年末年始

これまでの農産物直売所に比べ、売り場面積・加工スペース共に広がりました。
中道地区の新鮮で美味しい四季折々の農産物加工品や山梨県のお土産を販売しています。

編集後記

編集委員の皆様、農感記への委員からのご寄稿、さらに関係機関として紙面・写真についてご協力下さいました皆様、誠にありがとうございました。